

第 101 回理事会議事録

1. 日 時：2025 年 3 月 28 日（金）18 時 30 分～19 時 20 分
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 10 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、荒川聡一、緒方敏広、垣内寅彦（ロバート・ゲラー）、齋藤陽子、波多江隆児、森村俊介、柳澤彰子、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
（理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 9 名）

4. 議事の経過及び結果

WEB 会議システムを用いて理事会を開催した。WEB 会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見交換ができることを確認した。鳩山会長を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 100 回議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 正会員の申込について
以下の会友から提出された入会申請について承認した。
小笠原勇治（会員番号 172109）

第 3 号議案 会員の退会について
以下の会員からの退会の連絡について了承した。
佐藤牧子（会員番号 153698）

第 4 号議案 2025 年度予算案及び事業計画書について
鳩山会長より 2025 年度予算案について以下の説明があった。
2025 年度予算案は 2025 年 1 月時点から状況の大きな変化はなく、いくらかの修正を加えて 1065 万円の赤字予算となった。
収入については、公認料収入は微減を、年会費収入は会友年会費の見直しにより大幅な増加を、主催競技会収入は現状維持を見込み、森村豊明会のユース代表派遣支援を反映させ、総額は昨年度と比較し約 500 万円の増加とした。
経費については、ユース代表派遣費用と日本代表派遣の費用の増額を想定し、移転を行う場合の諸費用を 800 万円見込み、総額では昨年度と比較し約 1,300 万円の増加とした。
その結果、経常収益 163,860,000 円、経常費用 174,510,000 円、総額 10,650,000

円の赤字となる 2025 年度予算案が提出された。全理事による検討、確認の結果、3 月 28 日にこれを承認した。

鳩山会長より 2025 年度事業計画書が提出された、全理事による検討、確認の結果、3 月 28 日にこれを承認した。

鳩山会長より 2025 年度の資金調達および設備投資について計上を行わない旨提案があった。検討の結果、3 月 28 日にこれを承認した。

なお、監事は 2025 年度予算案、2025 年度事業計画書、2025 年度資金調達および設備投資について異議を述べなかった。

第 5 号議案 2024 年度の寄附について

鳩山会長より 2024 年度は高松宮妃癌研究基金に 10 万円の寄附を行いたい旨提案がありこれを承認した。

第 6 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 2 月 12 日に行われた企画委員会について報告があった。

2. 代表選抜委員会

齋藤代表選抜委員より 2025APBF 選手権日本代表の選考状況について報告があり、同オープン代表を承認した。

2025APBF 選手権日本代表

オープン部門

寺本直志、田中陵華、古田一雄、横井大樹、小池紀彰、大手瑠利

3. 競技委員会

波多江競技委員より 2 月 5 日に開催された第 292 回競技委員会について報告があった。

4. 普及事業部

柳澤普及事業担当理事より 3 月 4 日に開催された普及委員会について以下の報告があった。

QuizKnock の株式会社 baton の担当者と打ち合わせを行った。近日提案を受ける予定。

ラジオ NIKKEI に出演しブリッジの宣伝を行った。

柳澤普及事業担当理事より 2024 年度後期の各大学授業の実施状況および単位取得者数が報告された。

柳澤普及事業担当理事より 2 月および 3 月の橋之介くらの開催状況が報告された。橋之介くらは 3 月末で終了し、4 月以降は四谷 BC では月 1 回の体験教室、大船 BC は毎月第一日曜日の大船ファミリーブリッジでこどもの受け入れをそれぞれ行う。

5. 競技会事業部

波多江競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

6. 国際交流事業

吉田国際交流事業担当理事より 2025APBF ユース選手権日本代表の U21 および U26 チームのメンバー変更について以下の提案があった。U21 の 5 人チームについては 6 人が望ましいとの指摘があった。検討の結果承認された。

2025APBF ユース選手権

U21 日本代表

松田成海、肖宇祺、土屋拓輝、増野優太、浅野陽哉

U26 日本代表

宋逸寒、柳下晃太郎、三浦優悟、滝澤憲、野口広樹、稲見輝志

7. 人事委員会

齋藤人事委員長より 2 月 14 日開催された人事委員会について以下の報告があった。

各職員の 2024 年度の評価、2025 年度の年俸の決定を行った。2024 年度 3 月賞与では物価高の状況を鑑み職員 1 人あたり 10 万円の追加支給を行った。昨年 8 月に採用した新入社員の育成については順調に進んでいる。

8. コンプライアンス委員会

正村コンプライアンス委員長より 2 月に JCBL の HP の通報窓口に寄せられた通報への対応について報告があった。

024 年度の年俸を決定した。

9. 法人・管理部

荒川法人・管理担当理事より 2 月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

2024 年度の収支状況については、2 月末時点での収支累計は約 12 百万の黒字となっており、多少の黒字決算となる見込みである。クラブ勘定の残高については問題がない。

荒川法人・管理担当理事より基本財産の資金運用について、1 月に額面 3400 万円の債券が満期償還され 2 月に同額の額面の国債を購入した旨報告があり了承された。

第 7 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2024 年 4 月 25 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する。

本日のWEB会議システムを用いた理事会は、即時・双方向性が満たされており、終始異常なく議題の審議を終了した。

2025年3月28日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第101回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

吉田 正

監 事 関口 修

正村 祐一

議事録作成者 荒川聡一